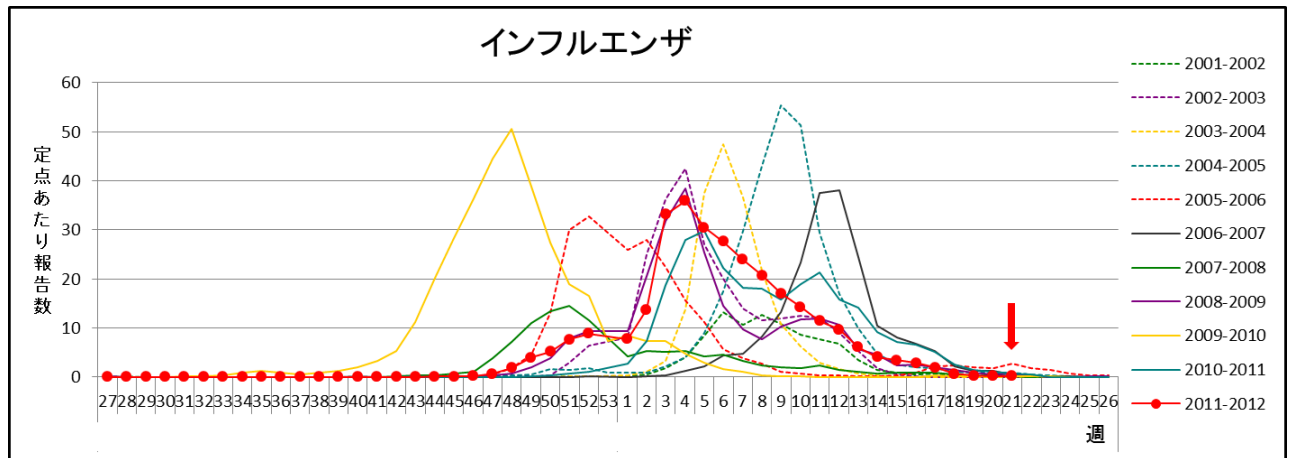


岡山県 インフルエンザ発生状況 (2011/2012 年シーズンまとめ)

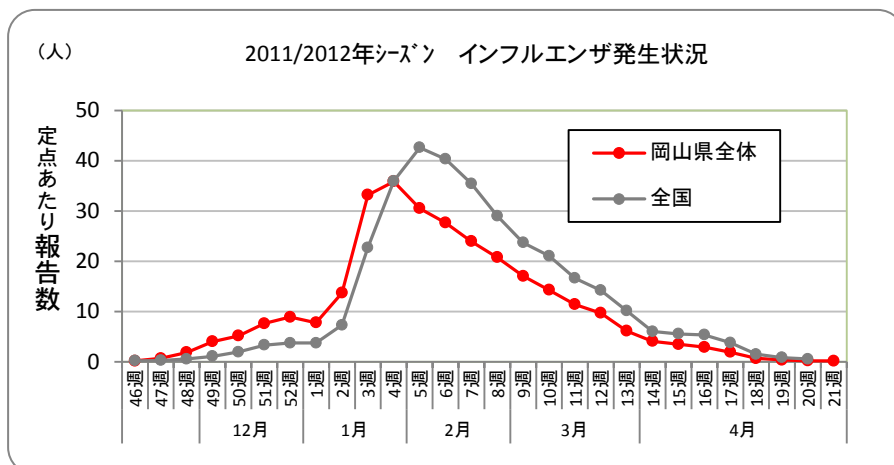


※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

岡山県における 2011 / 2012 年シーズン (2011/ 9/ ~ 2012/ 5/ 27 まで)、県内定点医療機関 84 定点から報告されたインフルエンザの発生動向をまとめました。

岡山県では、2011 年 第 37 週 (9/12~9/18) に今シーズン初めての患者が報告され、第 48 週 (11/28~12/4) に定点あたり患者数が 1.88 人となり、流行に入りました。以降、急速に拡大し、第 50 週 (12/12~12/18) に 5.17 人となり、定点あたり 5 人を越えたため、岡山県は 2011 年 12 月 22 日「インフルエンザ注意報」を発令しました。2012 年 第 3 週 (1/16~1/22) には 33.18 人となったため、1 月 26 日「インフルエンザ警報」を発令し、さらなる注意喚起をはかりました。第 4 週 (1/23~1/29) には 35.88 人となり、今シーズンのピークを迎えました。第 5 週以降、患者数は徐々に減少し、第 18 週 (4/30~5/6) 0.69 人、第 19 週 (5/7~5/13) 0.36 人と、2 週連続して定点あたり患者数が 1 人を下まわりました。そのため、岡山県に発令されていたインフルエンザ注意報は 5 月 17 日をもって解除になり、今シーズンのインフルエンザの流行は終息したと考えられます。

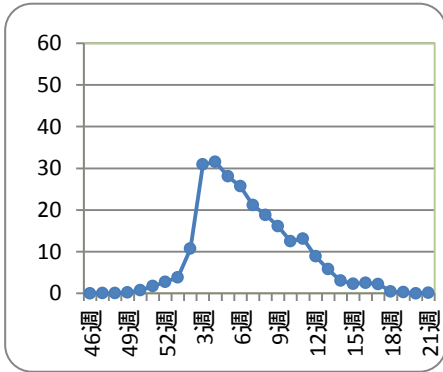
全国では、岡山県とほぼ同様に推移し、2010 年 第 49 週 (12/5~12/11) に 1.11 人となり、流行に入りました。その後、2011 年 第 5 週 (1/30~2/5) に 42.62 人となり、流行のピークを迎えました。以降、患者数は徐々に減少し、第 19 週 (5/7~5/13) には 0.86 人となり、定点あたり患者数が 1 人を下まわりました。



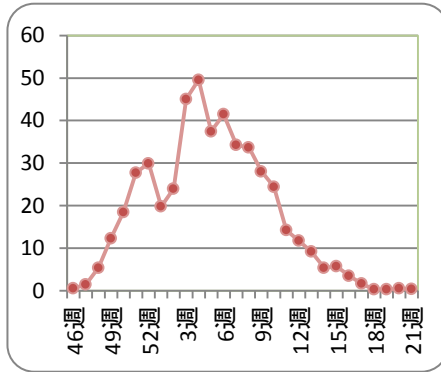
1. 地域別発生状況

地域別発生状況は、2011年第43週（10/24～10/30）頃から、倉敷市・備中地域を中心に患者が報告され始めました。流行初期は倉敷市・備中地域を中心に拡大し、やがて第52週（12/26～2012/1/1）には全地域で流行開始の指標である定点あたり1人を上まわり、県内全域で流行期に入りました。その後患者は増加をつづけ、ピーク時には、特に真庭地域（55.67人）備中地域（49.92人）、倉敷市（49.56人）で患者が多く報告されました。各地域とも、2012年第4～6週（1/23～2/12）をピークに、患者数はわずかに増減を繰り返しながら減少をつづけ、第20週（5/14～5/20）、全ての地域で定点あたり1人を下まわり、今シーズンの流行は終息したと考えられます。

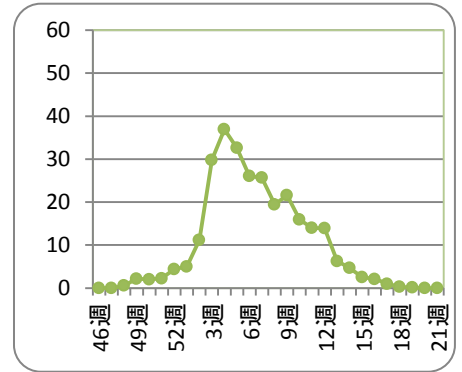
岡山市



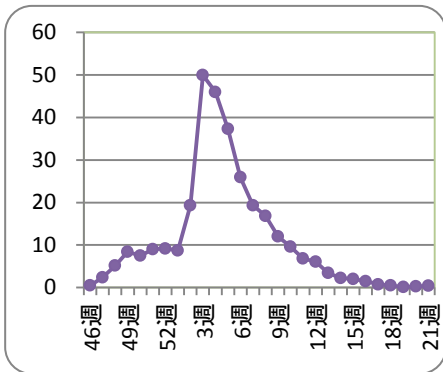
倉敷市



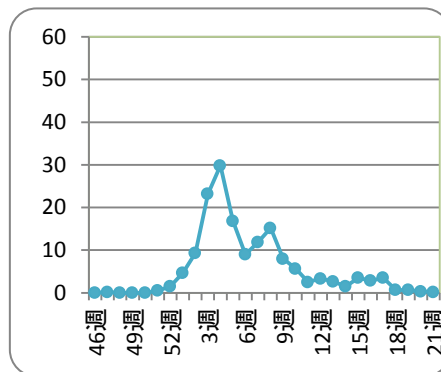
備前地域



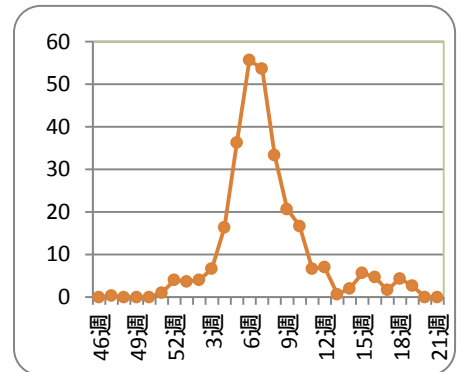
備中地域



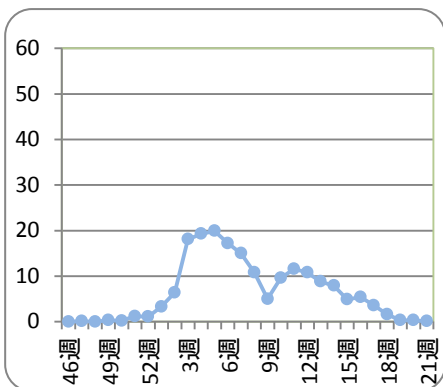
備北地域



真庭地域



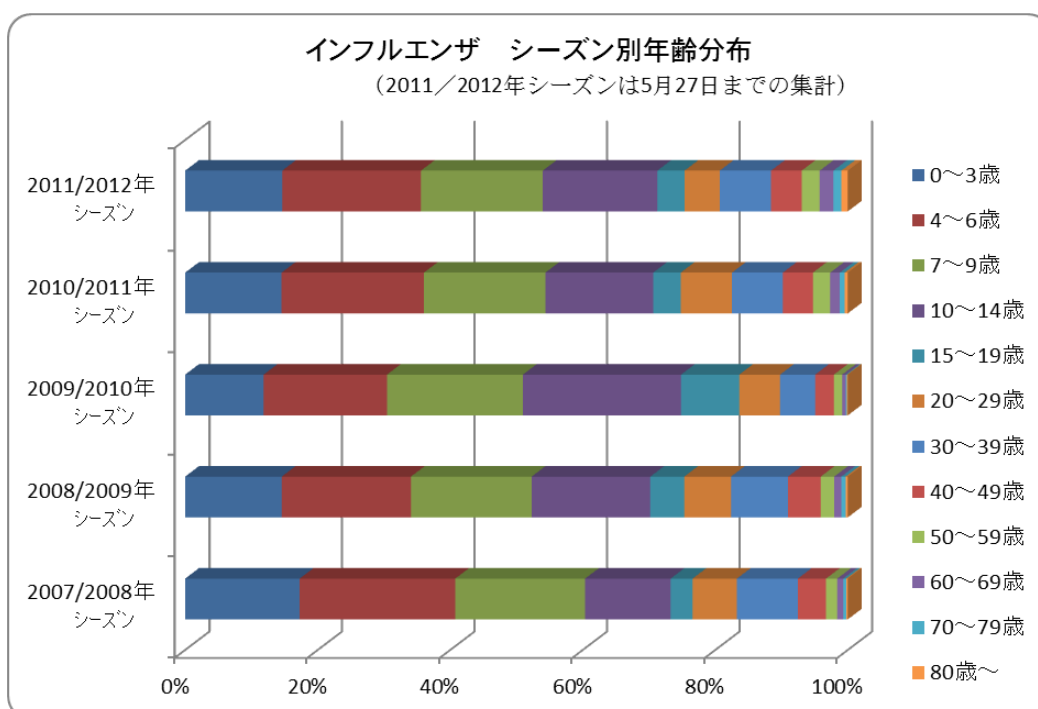
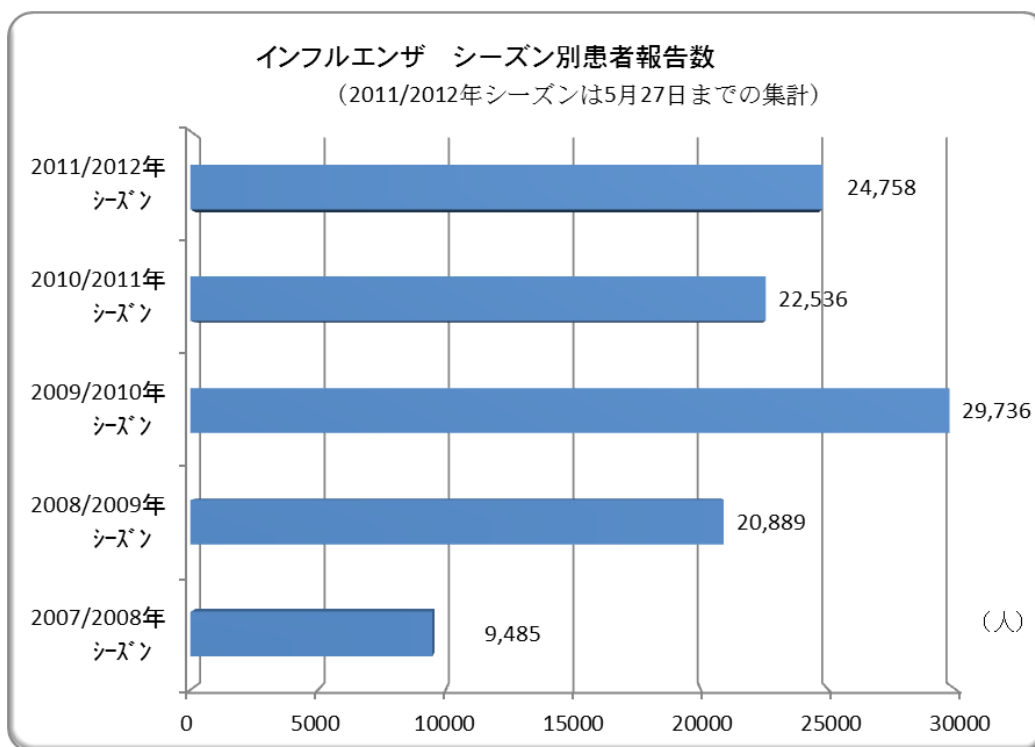
美作地域



2. 年齢別発生状況

2011/2012年シーズン、県内の患者報告数は24,758人となり、過去5年間では新型インフルエンザが猛威をふるった2009/2010年シーズンにつづく、患者発生の多いシーズンとなりました。

年齢分布は昨シーズン同様であり、4～6歳が最も多く(20.9%)、つづいて7～9歳(18.4%)、10～14歳(17.3%)の順であり、幼稚園児、小学生、中学生に該当する年齢層が多くを占めました。



3. インフルエンザウイルス検出状況

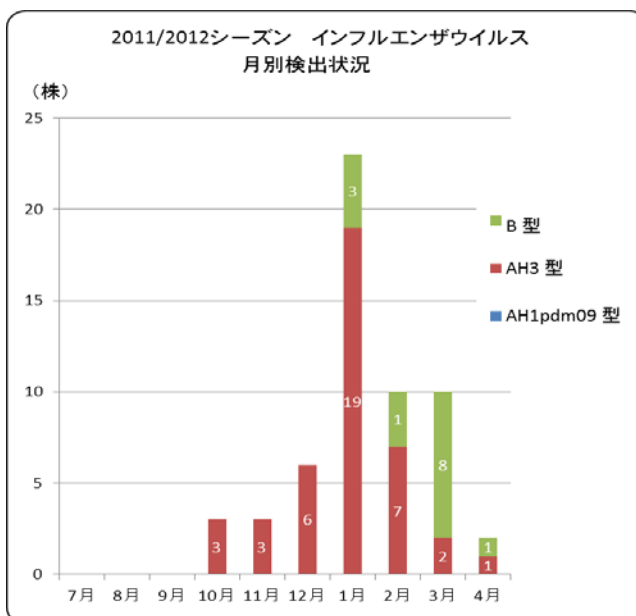
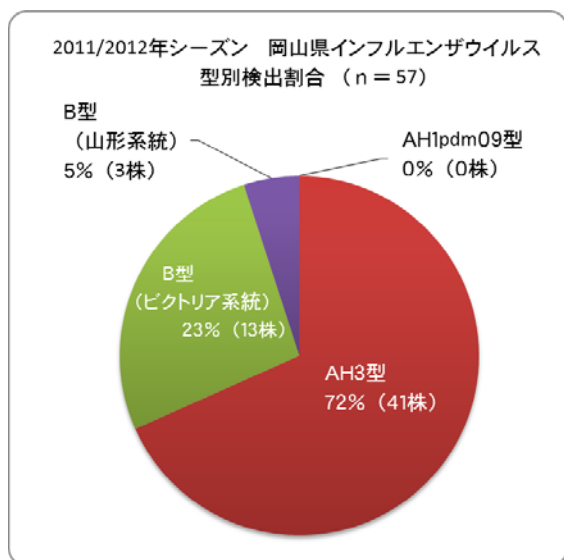
2011/2012年シーズンにおける岡山県環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルス57株の検出割合は、AH3型が最も多く41株(72%)、B型16株(28%) (B型のうちビクトリア系統13株(23%)、山形系統3株(5%))でした。前シーズン、前々シーズンに半数以上を占めたAH1pdm09型は、検出されませんでした。

月別発生状況は、10月の発生以降AH3型が検出され、12月、1月の流行期はAH3型が主流になりました。また、1月からB型が検出されはじめ、1月、2月はAH3型とB型が混在しました。3月からは主にB型が検出されました。今シーズン、AH1pdm09型は、県内では全く検出されませんでした。

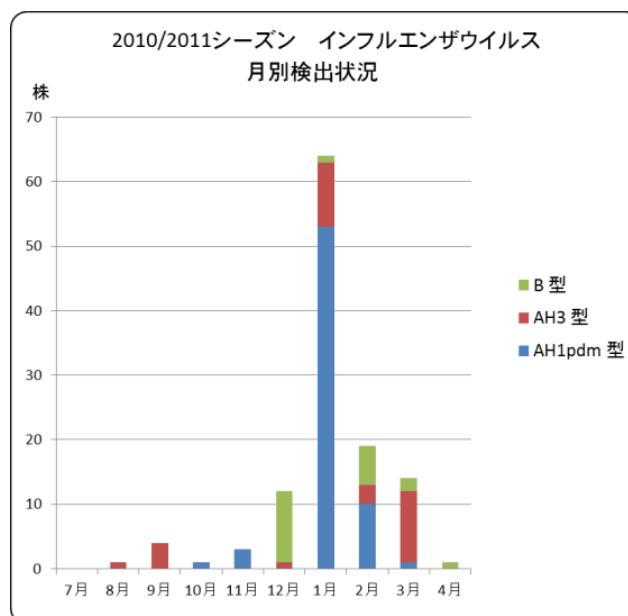
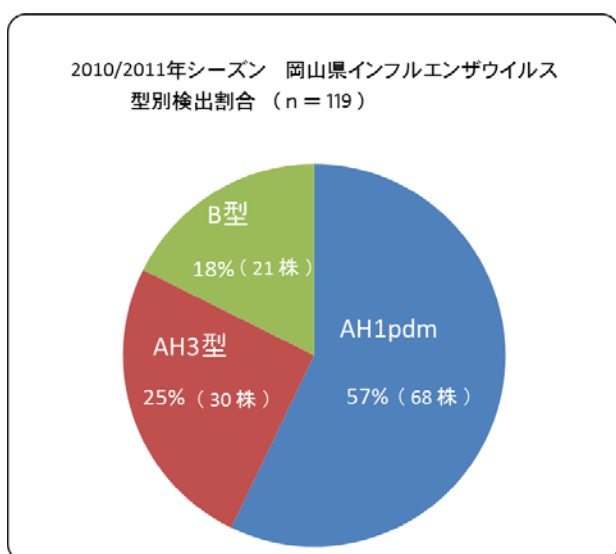
全国でこれまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型が13株(0.2%)、AH3型が4,784株(73%)、B型はビクトリア系統が971株(14.8%)、山形系統が487株(7.5%)、系統不明が294株(4.5%)報告されています。月別検出状況は岡山県と同様の傾向であり、また、AH1pdm09型は全国でも検出がわずかでした。

([インフルエンザウイルス分離検出状況](#) [国立感染症情報センター](#))

【2011/2012年シーズン】



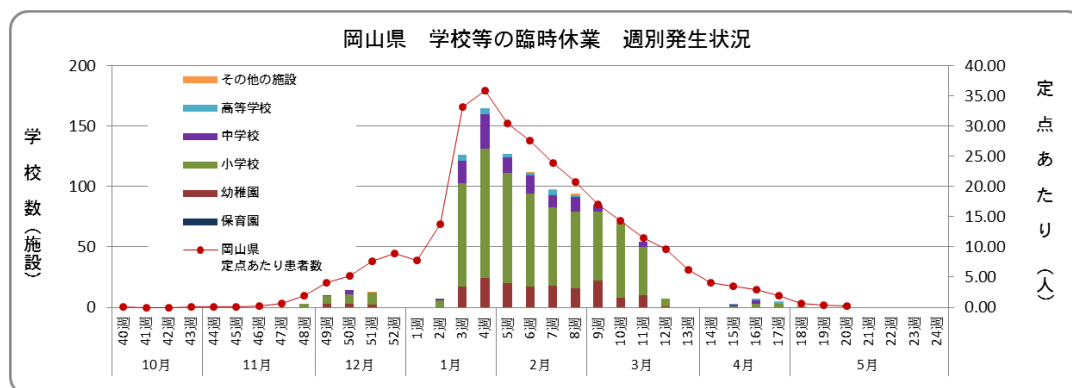
【2010/2011年シーズン】



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

今シーズンのインフルエンザとみられる臨時休業は、1,004 施設で、昨シーズン（893 施設）より増加しました。

施設別では、幼稚園 162 施設、小学校 698 施設、中学校 114 施設、高等学校 25 施設、その他 5 施設でした。初発は2011年10月31日で、昨年（11月4日）より早い報告となり、今シーズンのピークには1週間に165 施設の報告がありました。



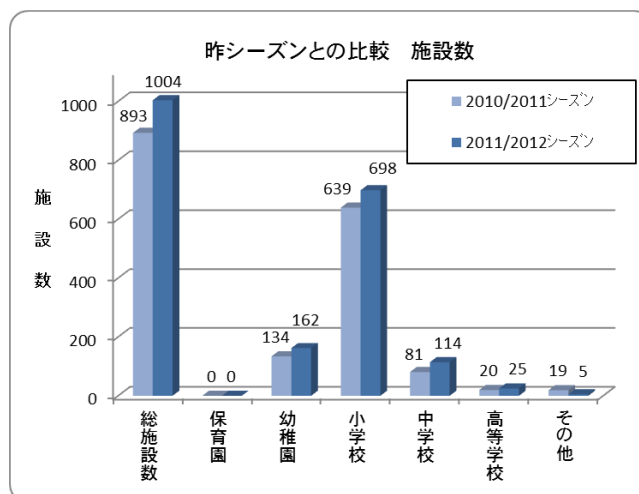
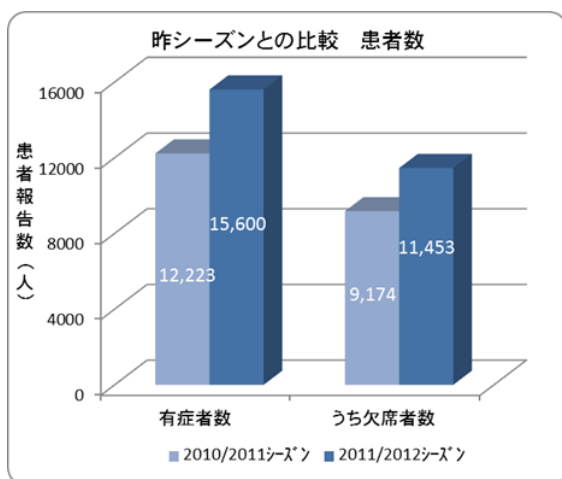
1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名	有症者数	うち 欠席者数	施設数合計	休園・休校数	学年閉鎖	学級閉鎖	初発年月日
岡山県全体	15,600	11,453	1,004	42	287	675	H23. 10. 31
岡山市	6,596	4,606	387	4	67	316	H23. 12. 15
倉敷市	3,700	2,767	221	7	39	175	H23. 10. 31
備前地域	1,992	1,614	152	6	68	78	H23. 12. 5
備中地域	1,410	1,184	116	10	46	60	H23. 11. 30
備北地域	313	227	29	3	12	14	H24. 1. 16
真庭地域	537	341	33	7	22	4	H24. 1. 13
美作地域	1,052	714	66	5	33	28	H24. 1. 16

2. 臨時休業施設数の内訳 累計 1,004 施設

(施設)

	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他
施設数	—	162	698	114	25	5



5. 入院時の状況と年齢別内訳(県内基幹定点 5 医療機関による報告)

今シーズンにおけるインフルエンザによる入院患者数は 93 名であり、4 歳以下の幼児 (34%) と、70 歳以上の高齢者 (37%) が多くを占めました。

週別では、流行のピークになった第 3~4 週に、入院患者数が最も増加しました。

【2011/2012 年シーズンにインフルエンザにより入院した患者数】

年齢	1 歳未満	1~4 歳	5~9 歳	10~14 歳	15~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80 歳以上	計*
入院患者数	11	21	13	3	1	1	2	1		6	13	21	93
ICU 入室										1	2		3
人工呼吸器の利用											1		1
頭部 CT 検査 (予定含)	1	7	4	1	1						4	2	20
頭部 MRI 検査 (予定含)	1	3									3	1	8
脳波検査 (予定含)	1	6	1								3	1	12
いずれにも該当せず	10	12	9	2		1	2	1		5	7	19	68

